

令和七年度予算案 所得増加を目指す

一月二四日に通常国会が開会しました。これから一五〇日間にわたり予算案や法律案などが審議されます。今回は、会期の初めに審議され、国民の皆様の生活に直結する令和七年度予算案について、重要なポイントを解説致します。

【政府の基本的な考え方】

政府は、全ての世代の現在・将来にわたる賃金・所得の増加を最重要課題とし、賃上げの環境の整備や成長分野における投資促進などにより、生産性や付加価値を高め、安定的に賃金・所得が増えていくメカニズムを構築しようとしています。

政府が「経済再生」（積極財政）を目指すのか、国の「財政健全化」を目指すのかという議論がありますが、政府としては、経済あつての財政との考えの下、力強く経済再生を進める中で、財政健全化も実現し、その両立を図るという考えを維持しています。私が現職中は、責任ある積極財政が必要と考え、活動を共に参りました。とりわけ次世代へ繋がる重要施策への投資の重要性、足元の生活支援、人的投資、研究力強化等訴えて取り組んできました。

【令和七年度予算案について】

△歳出△

そのような中で令和七年度予算は、歳出が一五兆五四一五億円（過去最大）と令和六年度から約三兆円増加しています。一般歳出は同〇・七%増の六八兆二四五二億円。全体の三分の一を占める「社会保障費」は、三八兆二七七八億円と過去最大となりました。

内容を具体的にみると、人工知能（AI）・半導体分野の投資促進やグリーン・トランスフォーメーション（GX）投資促進の実

施、「こども未来戦略」に基づく子育て支援の本格実施、防衛力の抜本強化といった複数年度で計画的に取り組むこととしている重点課題への対応のほか、地方創生交付金の倍増や内閣府防災担当の予算・定員の倍増などの重要政策に予算が重点的に配分されています。

なお、地方への交付金は千億から二千億に倍増されますが、政府としては、交付金を通じて自治体の創意工夫を引き出し、地域の実情に応じた活性化につなげたい考えです。



山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram

△歳入△

歳入をみまますと、税収入と税外収入でまかなうことができない二八兆六四九〇億円は新たに国債を発行してまかなう計画です。当初予算時点での国債の新規発行額は、令和六年度の当初予算と比べ六兆八千億円減り、一七年ぶりに三〇兆円を下回ります。この点だけを見ると、将来世代への負担となる国債の発行を減らすことができているので財政健全化が進んでいるとみることができるともいえます。しかし、財政健全化を目指すあまり、次世代につながる重要施策への投資が躊躇されることはあってはならないと考えます。

令和七年度予算案は、少数与党での予算成立を目指すことになりません。すでに、石破総理は予算案の修正に応じる可能性を否定しなかったとも報道されています。年度成立が難しいとの声もある本予算案ですが、国民の皆様の生活に直結する予算案をどのような内容で成立させるのか見守って参ります。

前衆議院議員

山本左近



不屈の
三河武士

《やまもと・さこん》

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。42歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙に自民党比例代表で2期目に立候補するも落選し現在に至る。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

令和7年度予算案 ポイント①

令和7年度予算フレーム (概要)

歳出	6年度予算 (当初)	7年度予算	増減
一般歳出	677,764	682,452	+4,689
社会保障関係費	377,193	382,778	+5,585
社会保障関係費以外	290,571	299,674	+9,103
うち防衛力整備計画対象経費	77,249	84,748	+7,498
うち一般予備費	10,000	10,000	-
物産・買上げ促進予備費	10,000	-	▲10,000
地方交付税交付金等	177,863	190,784	+12,921
国債費	270,090	282,179	+12,089
計	1,125,717	1,155,415	+29,698

歳入	6年度予算 (当初)	7年度予算	増減
税収	696,080	784,400	+88,320
その他収入	75,147	84,525	+9,378
うち防衛力強化分	21,261	26,659	+5,398
公債金	354,490	286,490	▲68,000
4条公債 (建設公債)	65,790	67,910	+2,120
特別公債 (赤字公債)	288,700	218,580	▲70,120
計	1,125,717	1,155,415	+29,698

(注) 計数は、それぞれ既発表入によるもので、歳入において合計と一致しないものがある。

令和7年度予算のポイント

R6 経済対策・補正予算と合わせて、「買上げと投資が牽引する成長型経済」へ移行するための予算
骨太2024等で示されている予算編成の考え方 (いわゆる「歳出の目安」) に沿って、経済・物産動向に配慮しつつ、これまでの歳出改善努力を継続する中で、重要な政策に重点化。

重要政策課題への対応

- 財源を確保しつつ複数年度で計画的に取り組んでいる重要政策課題を着実に推進。
 - 厳しい安全保障環境に対応するための防衛力の技術強化
 - 「こども未来戦略」に基づくこども・子育て支援の本格実施
 - 「投資立国」の実現に向けたGX投資推進、AI・半導体産業基盤強化
- 地方創生交付金の増増や、内閣府防災担当の予算・定員の増増など、重要政策に予算を重点配分。
- 梁価改定や高額療養費制度見直しなどの全世代型社会保障改革、教職調整段階的引上げと教員の働き方改革といった重要課題への対応。

経済再生と財政健全化の両立

- 経済・物産動向に配慮しつつ、重要政策課題に対応する中で、財政健全化を着実に推進。
 - 当初予算で国債発行額が30兆円を下回るの、17年ぶり
- 地方の一般財源総額を確保しつつ、臨時財政対策債の発行額をゼロとするなど、地方財政の健全化を推進。

経済・物産動向を反映した予算編成

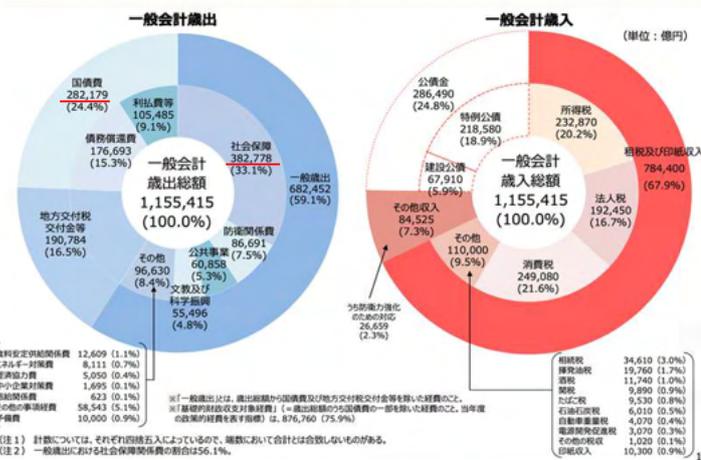
- 公務員・教職員・保育士の給与改善 (R6 人事院勧告)
- 公共工事の設計労務単価の引上げ (R7 分は2月改定)
- 公立学校施設の補助単価の引上げ
- 地方公共団体の公共調達の価格転嫁円滑化 (労務費等)
 - * 重点支援地方交付金 (R6 補正) による対応
- 取引適正化の取組の推進 (下請Gメン、トラック・物流Gメン、建設Gメン) 等

「歳出の目安」における経済・物産動向への配慮

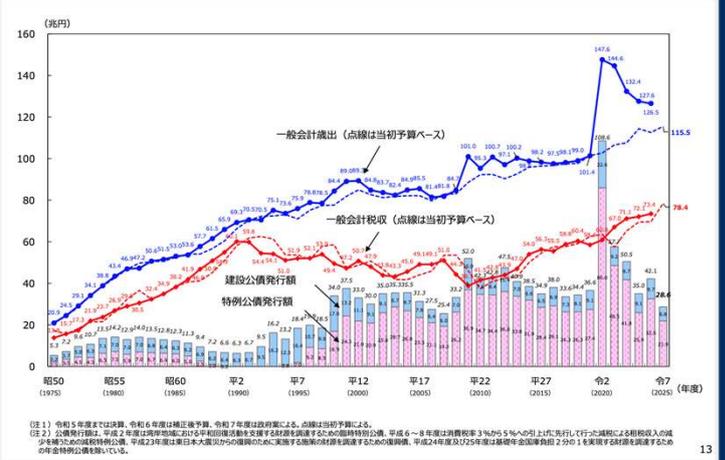
- 人事院勧告の影響もある中、政策的予算を適切に確保。
 - <社会保障関係費> 人口構造の変化に伴う増分に、年金スライド分や保育給付の上振れ相当分 (R6 人事院勧告の影響) を上乗せ (+2,500億円程度)。
 - <非社会保障関係費> 近年の物産上昇率の変化を反映したR6 当初の「目安」(+1,600億円) と同水準を維持しつつ、公務員人件費の増により実質的に同減りしないよう、相当額を上乗せ (+1,400億円程度)。

歳出が115兆5415億円 (過去最大) と令和6年度から約3兆円増加しています。一般歳出は同0.7%増の68兆2452億円。

令和7年度一般会計予算 歳出・歳入の構成



一般会計税収、歳出総額及び公債発行額の推移



全体の3分の1を占める「社会保障費」は、38兆2778億円と過去最大となりました。当初予算時点での国債の新規発行額は、令和6年度の当初予算と比べ6兆8000億円減り、28兆6490億円と、17年ぶりに30兆円を下回ります。

出典：財務省令和7年度政府予算案
https://www.mof.go.jp/policy/budget/budger_workflow/budget/fy2025/seifuan2025/01.pdf

自民党に入党して、党员として自民党を支えてください。

党员になっていただくと

「総裁選挙」の選挙権がもらえます!

- 一般党员 / 年額 4,000円
 - 家族党员 / 年額 2,000円 (一般党员と同じ住所)
- ※ 家族党员として入党するには、同一世帯に一般党员1名が必要です

ご入党いただける方は、QRコードよりご連絡ください。



- 入党資格
1. わが党の綱領、主義、政策などに賛同される方
 2. 満18歳以上で日本国籍を有する方
 3. 他の政党の党籍を持たない方

※ 総裁選挙前の2年継続して党費を納めた党员の方

山本左近 豊橋事務所

〒440-0806 愛知県豊橋市八町通1丁目14-1 TEL. 0532-21-7008 FAX. 0532-21-7003 info@sakonyamamoto.com

お名前、ご住所等のご確認のお願い

お名前やご住所に変更がありましたら、山本左近事務所までご一報ください。山本左近を応援して下さる皆さまに今後も情報をお届けできるよう努めて参りますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

討議資料